

参考

2023年10月19日（木）

公益財団法人

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

マーケティング課 ブランド・チケットンググループ

（発表資料に関すること）

担当 栗原 加藤 佐藤

電話：052-746-9607（ダイヤルイン）

調整課 調整・広報グループ（その他大会に関すること）

担当 浅野 奥村

電話：052-951-2026（代表）

ウェブサイト：<https://www.aichi-nagoya2026.org/>

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会スローガン・エンブレム制作検討委員会の設置について

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会では、2023年10月3日に愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会の開催都市契約が締結されたことから、愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会のスローガン・エンブレムの制作を進めていきます。制作にあたって、透明性・公正性を確保し、制作方針やコンセプト等について客観的観点からご意見・ご助言をいただくため、有識者から構成される「制作検討委員会」を設置し、制作の検討をしてまいります。

1 委員

[委員長] ひろむら まさあき 廣村 正彰 氏（廣村デザイン事務所代表取締役）

[委員] いとう とよつぐ 伊藤 豊嗣 氏（名古屋造形大学学長）

たぐち あき 田口 亜希 氏（日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部ディレクター）

たなか りさ 田中 里沙 氏（事業構想大学院大学学長）

2 議題（予定）

- ・制作方針、制作コンセプト、クリエイティブの方向性について
- ・パラスポーツを通じたコミュニケーション（ワークショップ等）の実施方法について
- ・選定委員会委員の人選について

3 開催スケジュール

第1回 2023年10月19日（木）

第2回 2023年10月末から11月上旬を予定

- ※ 1）本委員会の第1回はオンラインで実施します。
 - ※ 2）今後、開催日程、会議内容等については、組織委員会HPにて随時更新してまいります。
 - ※ 3）検討段階の情報の公開は、審議に影響を及ぼす可能性があるため、委員会は非公開としますが、第1回委員会の概要は、後日資料配布を行います。
- なお、第2回委員会終了後に、これまでの検討結果を説明する記者ブリーフィングを実施する予定です。

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会スローガン・エンブレム制作検討委員一覧

制作検討委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954 年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988 年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などの CI、VI 計画、サインデザインを手がけている。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9h ナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFT のアートディレクション、東京 2020 スポーツピクトグラム開発など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN 賞、SDA 大賞、グッドデザイン金賞、DSA 大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』(ADP) 他。

制作検討委員



伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958 年三重県生まれ。1981 年三重大学教育学部美術科卒業。1984 年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会 (JAGDA) ポスター大賞 1993、JAGDA 新人賞 1994、第 15 回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ 1996 銅賞 (ポーランド)、平成 14 年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博 (2010)・国際ポスターコンペティション名誉賞、第 62 回全日本広告連盟名古屋大会 (2014) シンボルマークコンペ採用、Poster Stellers 2022 第 2 回国際ポスターコンペティション Political 部門銅賞 (アメリカ) 他。



田口 亜希 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
推進戦略部ディレクター

パラリンピック射撃元日本代表。アテネ、北京、ロンドンと 3 大会連続でパラリンピックに出場。アテネでは 7 位、北京では 8 位に入賞。2016 年オリンピック・パラリンピック招致活動では最終プレゼンターを務め、また 2020 年オリンピック・パラリンピック招致における国際オリンピック委員会 (IOC) 評価委員会ではプレゼンテーションを行なった。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、聖火リレー公式アンバサダー、選手村副村長としても大会を盛り上げた。日本パラリンピック委員会運営委員、日本オリンピック委員会理事も務める。



田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

会社案内、企業広告を得意とする広告会社 (広報、コーポレートコミュニケーション) を経て広告マーケティングの老舗雑誌「宣伝会議」に移籍。29 歳で編集長に就任。「広報会議」「環境会議」等を創刊。オンラインメディア「アドバタイムズ」を開発。社会資本整備審議会、地方制度調査会、財政制度等審議会、中央環境審議会等の委員、政府広報アドバイザー。環境省「クールビズ」ネーミング、2020 五輪エンブレム、伊勢志摩サミット、G20 ロゴマーク選考委員を担う。2016 年学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学学長に就任。新事業、地域活性、広報・社会構想の研究及び人材育成に従事する。